

剣山周辺のニホンジカ食害防護ネットを補修しました

平成 30 年 10 月 25 日
徳島森林管理署

徳島県でもニホンジカによるスギ・ヒノキ等の苗木や成木樹皮の食害などの被害が発生しており、その対策が喫緊の課題となっています。徳島森林管理署では、はこ罌を職員自ら国有林内に設置し、獣害であるニホンジカの捕獲に取り組んでいるほか、地域のNPOの南つるぎ地域活性化協議会と協定を締結し、民国連携してニホンジカの捕獲やジビエ活用にも積極的に取り組んでいます。

このほかに、ニホンジカの食害が顕在化している箇所には、食害を防止するシカネットを張り、ニホンジカの侵入を防止するなどの対策を講じています。

設置したシカネットは、定期的に巡視を行い、必要に応じて職員自ら補修などの点検・作業を行っています。

徳島県有数の観光スポットである剣山(1955m)に近接する菅生(すげおい)国有林内に設置したシカネットが、今年 6 月末に襲来した台風等により、ニホンジカ防護ネットの一部が破損したため、10 月 12 日、職員が補修しました。



台風による崩壊で破損した箇所(菅生国有林)



補修を完了しました。(菅生国有林)

また、10月18、19日には、鎗戸(やりど)国有林内に設置したシカネットが、降雪や倒木などの影響を受け、その一部が破損したため補修しました。



倒木によりシカネットが破損。(鎗戸国有林)



新たにネット(一部)を張ります。(鎗戸国有林)

このように、徳島森林管理署では、国有林内に設置したシカネットの定期的な巡視と補修に取り組むなど、継続かつ効果的な獣害対策に取り組んでいます。